

10月8日

テーマ：ザアカイ

聖書箇所：ルカの福音書19章1～10節

◆今日のみことば

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。

ルカの福音書19章10節

◆メッセージ

エリコという町にザアカイさんという取税人がいました。取税人は、町の人からお金を集めるお仕事です。彼は、お金が大好きだったので、みんなから集めたお金の中から、少しずつ取って自分のポケットに入れていました。だから、町の人からはとっても嫌われていたのです。お金さえあれば、大丈夫とっていました。

ある日、このエリコの町に、イエスさまがやってきました。「おーい、この町にイエスさまがやってきたぞー」「イエスさまー。イエスさまー。」町の中がザワザワしていました。そんな町の賑わう声がザアカイさんの耳にも入り、彼もイエスさまを一目見るために、出かけていったのです。イエスさまの周りには、いつも沢山の人がいました。ですから、イエスさまの方へ近づこうとしても、人が多すぎて、前へ進めません。ザアカイさんは背が低かったので、背伸びをしても、みんなの背中とお尻しか見えませんでした。みんなから嫌われていたので、誰も前には行かせてくれませんでした。ザアカイさんはお金はたくさん持っていました、本当はお友だちもいなくて孤独で毎日とっても寂しかったのかもしれないね・・・。



ザアカイさんは、イエスさまを見るために、近くの木の登りはじめました。すると、イエスさまは木に登ったザアカイさんの方へと近づいて来られたのです。そして言われました。「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」ザアカイさんは、驚いたことでしょう。「え？イエスさまは、私のことを知っていてくれる？嫌われ者の私の家に来てくれるのは、なぜ？」と。ザアカイさんは、急いで降りて来て、そして大喜びでイエスさまをお迎えしました。イエスさまと食事をしながら、イエスさまの話聞きしました。イエスさまに出会い、イエスさまの愛を知ったザアカイさんの人生は変えられました。「私にだまして受け取ったものを四倍にしてお返しします。貧しい人たちに財産の半分を分かち合います。」自分のために人をだましていた人生から、イエスさまのように自分を犠牲にして、人に与える人生へと変えられたのです。



「人の子」とはイエスさまの事です。そして、「失われた人」とは、神さまから離れ、罪の中に生きるザアカイさんや私たちの事です。私たちもイエスさまに出会い、悔い改めて、神さまの所へ戻るとき、それまで自分中心に生きてきた考え方が、神さま中心の考え方へと変えられるのです。



◆お祈り

「イエスさまは、私たちの所にも来て、いつも一緒にいてくださいますから、ありがとうございます。私たちも、自分中心ではなくて、神さま中心に歩むことができますように。」

(富士川教会牧師 佐藤賢祐)